



日本の議会制民主主義の危機！克服への道

～イギリス政治から学ぶ～

講師：成蹊大学教授 今井 貴子様

プロフィール

1970年東京都生まれ。東京大学大学院総合文化研究科博士課程単位取得退学。博士(学術)。専門は、イギリス政治、比較福祉政治。著書に「政権交代の政治力学」(櫻田会奨励賞)。共著に「教養としての政治学入門」「現代政治のリーダーシップ」「ポピュリズムという挑戦」など。

世界は、依然として終息が見いだせない新型コロナ問題・気候変動・貧困と格差・経済対策等悩み苦しんでいます。全ての生命を守るため英知を傾けなければなりません。その底流に民主主義の存在・役割があるのではないのでしょうか。各国、特にリーダーはく自国から世界をく世界から自国をくしっかり捉え、語る事が求められています。

今年6月イギリスでG7が開催されました。参加国首脳の顔ぶれを見、激しく動く国際社会の変化と混迷を感じたところ。開催国イギリスでは、2019年7月ジョンソン氏が首相に就任、同年12月総選挙で保守党が大勝利し、2020年1月ついにEUを離脱しました。我が国は安倍氏からトヨタタッチを受けた菅首相が出席、間もなく総選挙が控えています。その前に自民党総裁選挙。総裁・首相はどなたか？アメリカは激戦を制したバイデン新大統領が出席。そのアメリカは、実に20年という長期間駐留してきたアフガニスタンから8月末に軍が完全撤退しました。在任16年欧州・世界外交の中心的存在であったドイツ・メルケル首相は9月に退陣し、新たな首相が選ばれます。来年4月にはフランスでは大統領選挙、マクロン氏再選も係る戦いです。欧米各国での選挙・議会制度の違いはあるものの、選挙により政権が決められる事への違いはありません。G20(10月末)の顔ぶれは？

このような時、私たち自身も我が国の政治を見つめ直す機会ではないかと考えます。講師は、長くイギリス政治を中心に研究されて来られました。野党(オポジション)研究・さらに有権者動向の観点から如何に日本の民主主義を育て鍛え強めていくか等、語っていただきます。多くの方々のご参加をお待ちしています。

日時 2021年10月11日(月) 午後6時開場
午後6時20分開演～午後8時終了

会場 ワークピア横浜(横浜市中区山下町24-1) ☎045-664-5252

資料代 1,000円・学生無料

主催：一般社団法人勁草塾 代表理事 齋藤 勁 後援：神奈川新聞社、東京新聞横浜支局、沖縄タイムス社、琉球新報社、タウンニュース社(順不同) 協力：一般社団法人生活政策研究所

*参加お申込みの方は、下記までFAXまたはEメールにて、先着100名様迄。定員後に申込みの方は連絡します。

*新型コロナウイルス感染予防のため十分間隔を置き着席いただきます。また、マスクの着用や入り口での検温、消毒にご協力下さい。

一般社団法人 勁草塾横浜事務局 FAX 045-315-7540 e-mail : t-saitou.jimusho@zd.wakwak.com

勁草塾講演会(2021年10月11日)

出席()名 ・ 欠席

お名前

連絡先